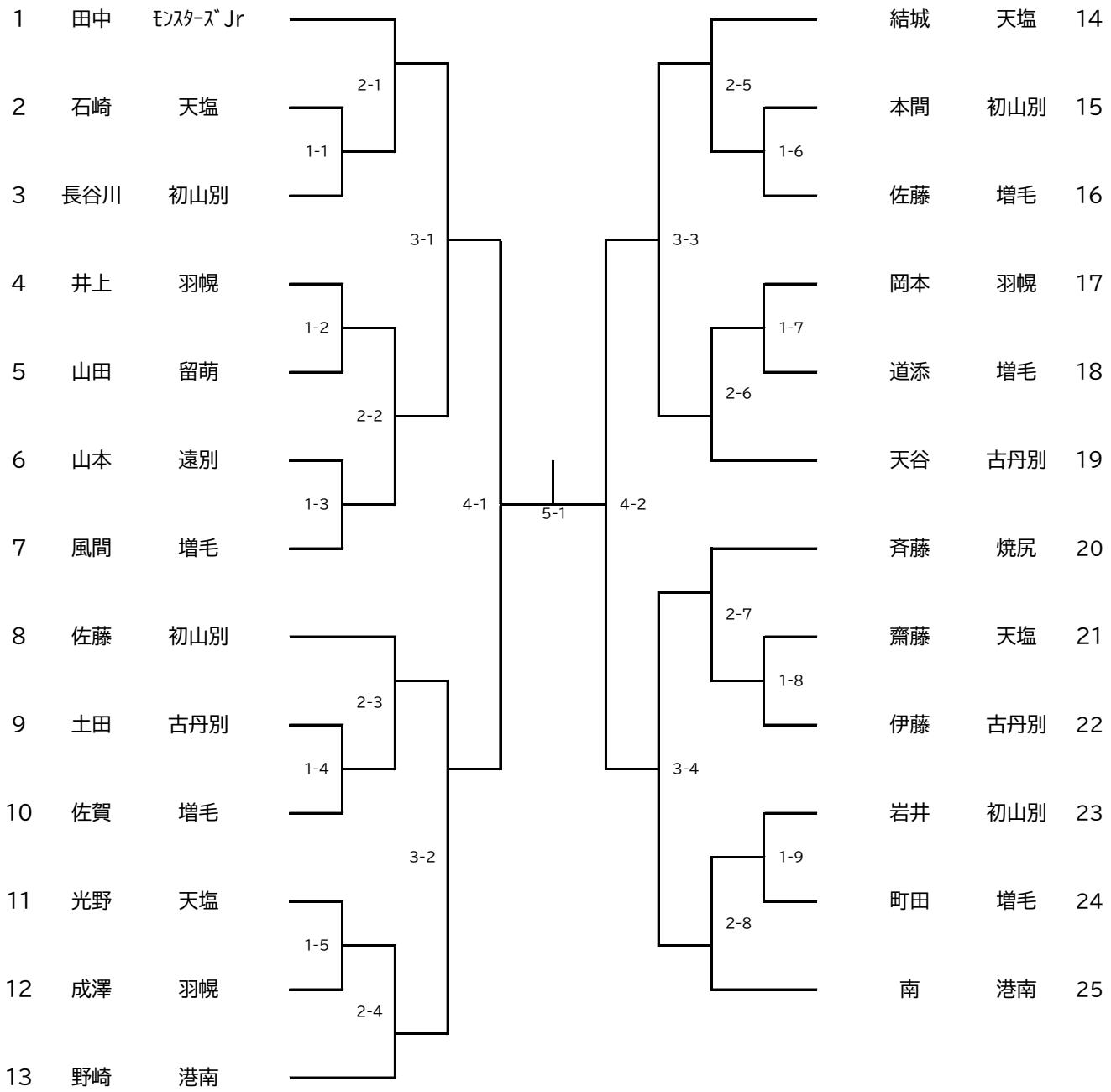
13歳（中学1年）以下男子シングルス

※全道カデット予選



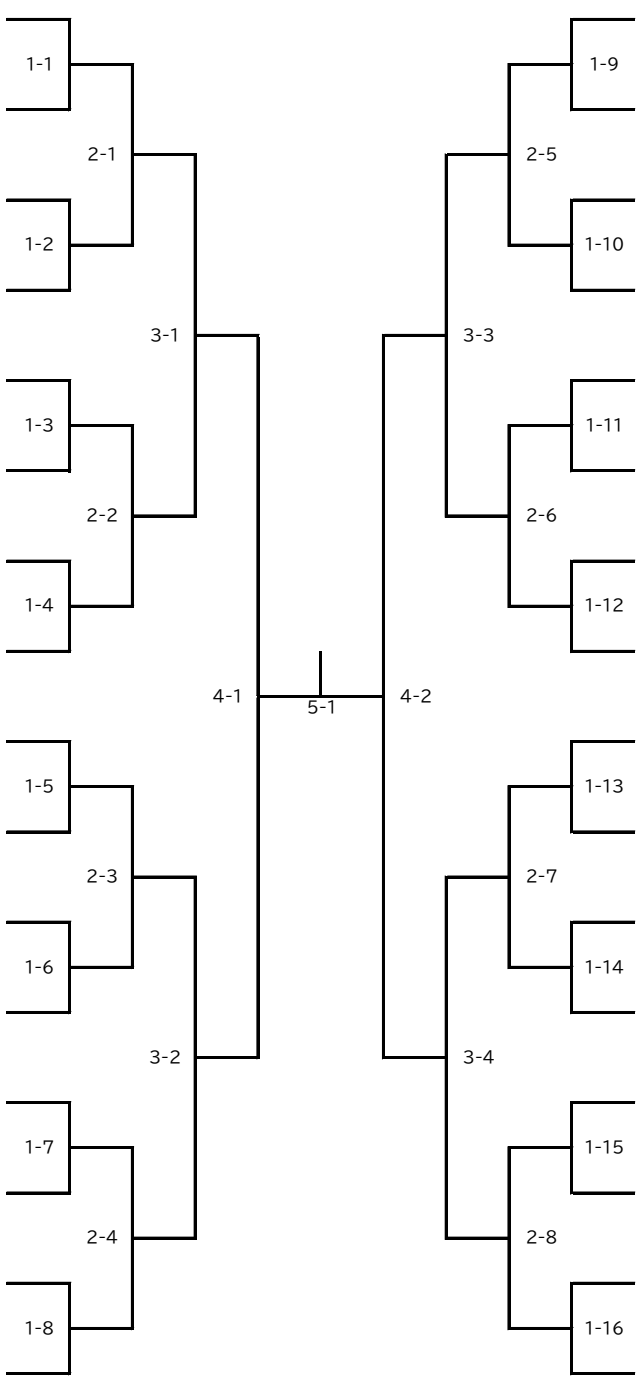
第9･10代表決定戦

優勝		準優勝	
第3位		第3位	

14歳（中学2年）以下男子シングルス

※全道カデット予選

1	鹿内	港南
2	岩田	増毛
3	北岡	羽幌
4	福田	小平
5	佐々木	天塩
6	柿崎	遠別
7	岡田	増毛
8	森	羽幌
9	北島	増毛
10	福岡	港南
11	山崎	天塩
12	田村	羽幌
13	小長根	留萌
14	藤田	増毛
15	今	小平
16	藤森	遠別



一岡	増毛	17
南部	羽幌	18
茂野	遠別	19
宮本	小平	20
福嶋	増毛	21
古川	苫前	22
佐々木	羽幌	23
米倉	港南	24
花井	古丹別	25
斉藤	増毛	26
松金	羽幌	27
中澤	港南	28
清水	増毛	29
山口	遠別	30
佐藤	留萌	31
田澤	天塩	32

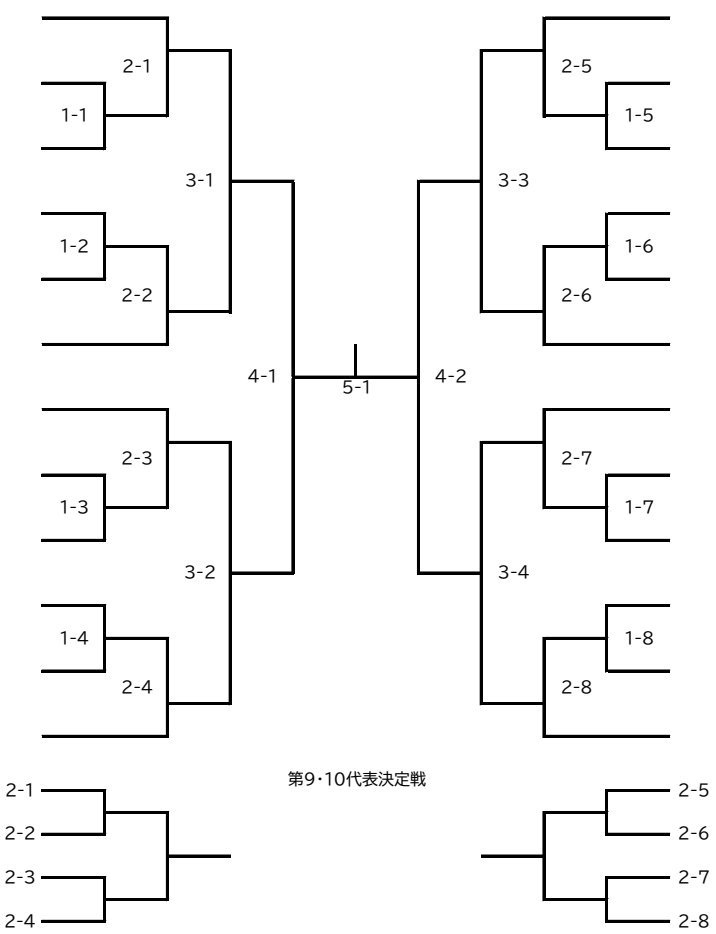
第9･10代表決定戦

優勝		準優勝	
第3位		第3位	

13歳(中学1年)以下女子シングルス

※全道カデット予選

1	神	ﾓﾝｽﾀｰｽﾞJr
2	田村	遠別
3	岡崎	留萌
4	越前	港南
5	益田	留萌
6	岡田	苫前
7	倉田	天塩
8	山内	港南
9	金子	留萌
10	進藤	増毛
11	橋本	港南
12	室木	留萌



13	中嶋	古丹別
14	渡辺	留萌
15	下田	苫前
16	前野	増毛
17	古堂	港南
18	湯谷	留萌
19	原田	港南
20	岸	留萌
21	福崎	苫前
22	寺沢	港南
23	ハリソン	天塩
24	佐藤	留萌

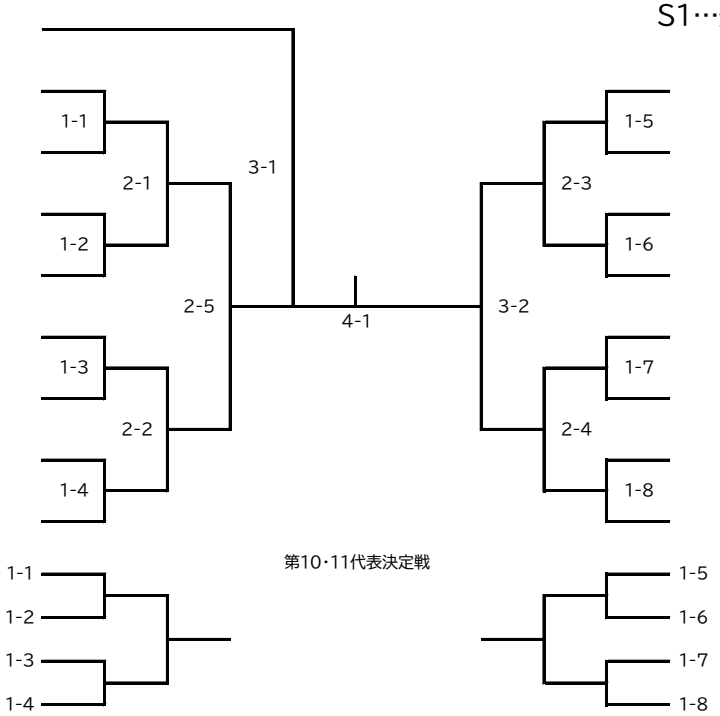
優勝		準優勝	
第3位		第3位	

14歳(中学2年)以下女子シングルス

※全道カデット予選

S1…道卓連推薦選手

S1	中舘	ﾓﾝｽﾀｰｽﾞJr
2	大西	古丹別
3	吉田	増毛
4	田中	天塩
5	佐井	苫前
6	天谷	古丹別
7	宮越	天塩
8	加藤	天塩
9	敦賀	ﾓﾝｽﾀｰｽﾞJr

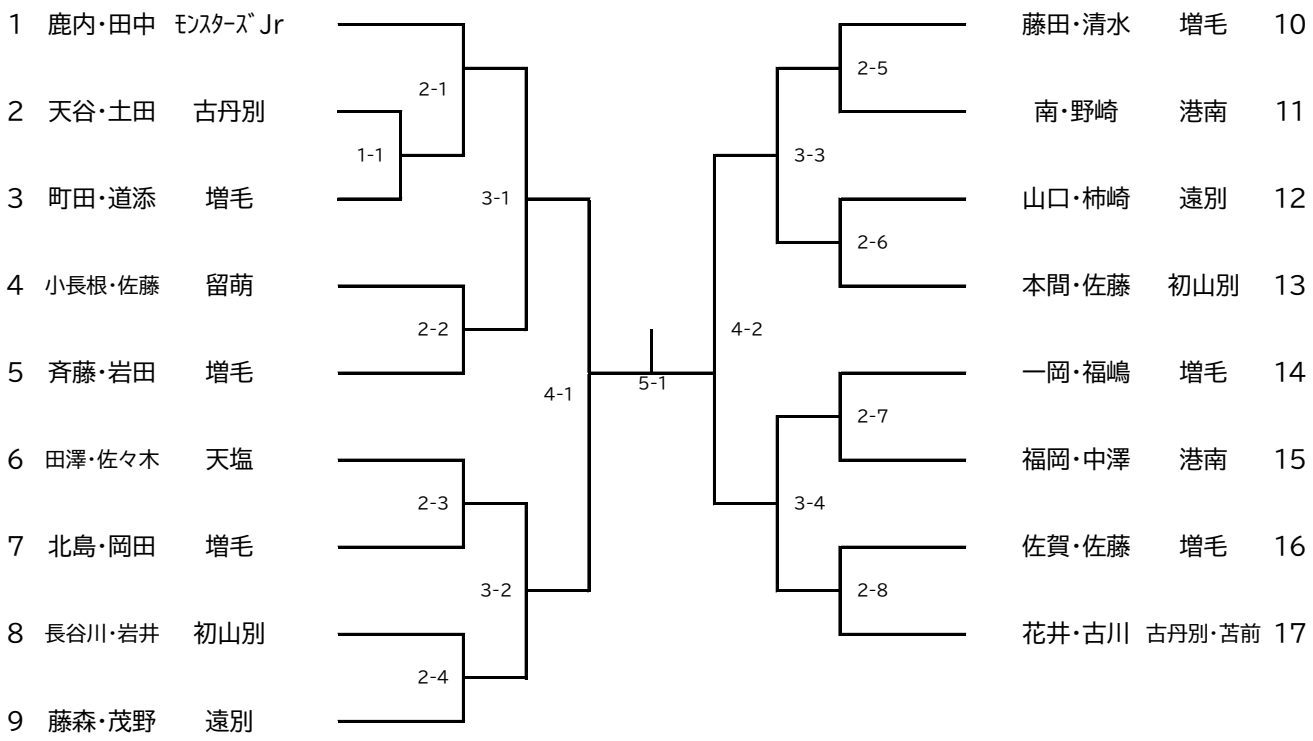


10	桧森	古丹別
11	石崎	天塩
12	藤井	増毛
13	岡田	港南
14	ハリソン	天塩
15	大井	古丹別
16	下川	増毛
17	金子	ﾓﾝｽﾀｰｽﾞJr

優勝		準優勝	
第3位		第3位	

中学(中2以下)男子ダブルス

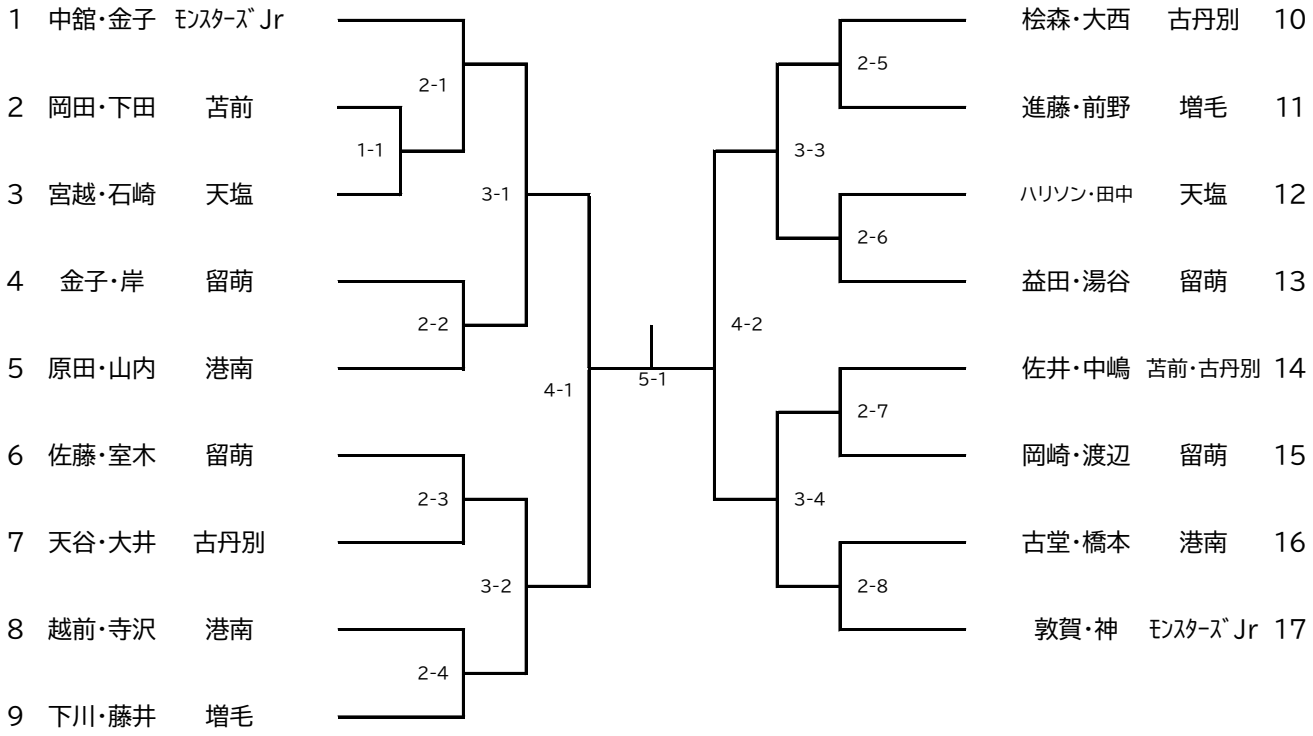
※全道カデット予選



優勝		準優勝	
第3位		第3位	

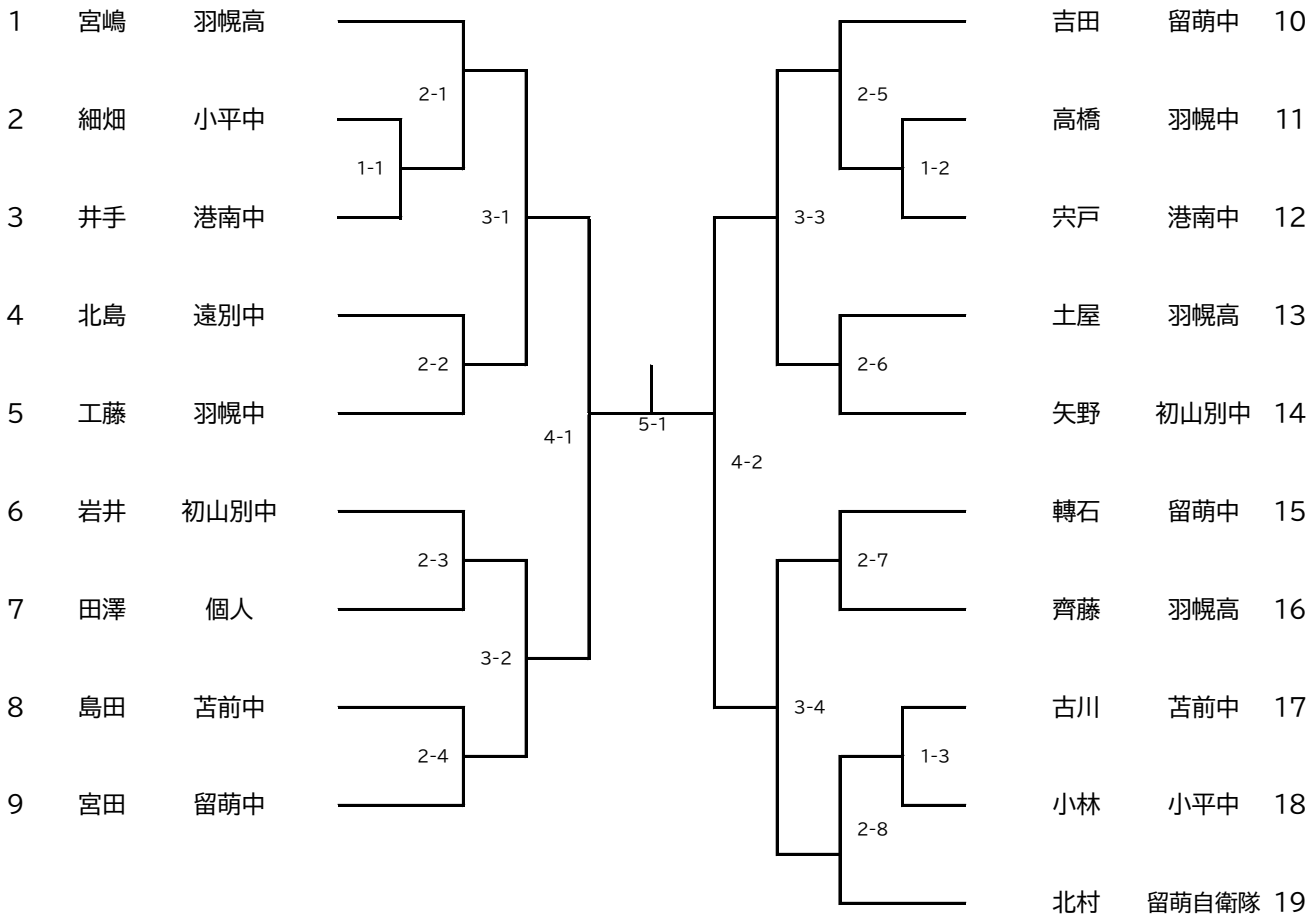
中学(中2以下)女子ダブルス

※全道カデット予選



優勝		準優勝	
第3位		第3位	

高校(中3含)・一般男子シングルス



優勝		準優勝	
第3位		第3位	

高校(中3含)女子シングルス

			1	2	3	4	勝敗
1	杉山	留萌中					
2	伊藤	古丹別中					
3	杉本	羽幌高					
4	丹羽	古丹別中					

試合順

①1-4　④2-4
②2-3　⑤3-4
③1-3　⑥1-2

優勝		準優勝	

一般男子ダブルス

Aブロック			1	2	3	4	勝敗
1	宮嶋・齊藤	羽幌高					
2	宮田・轉石	留萌中					
3	岩井・矢野	初山別中					
4	宍戸・井手	港南中					

B-2		

A-2		

Bブロック			1	2	3	順
1	鹿内・北村	Monsters・自衛隊				
2	島田・古川	苫前中				
3	小林・細畑	小平中				

試合順

4組　①1-4　④2-4
②2-3　⑤3-4
③1-3　⑥1-2

3組　①1-3
②2-3
③1-2

優勝		準優勝	
第3位		第3位	

一般混合・女子ダブルス

Bブロック			1	2	3	勝敗
1	北村・佐々木	自衛隊・RumoiLab				
2	伊藤・丹羽	古丹別中				
3	吉田・杉山	留萌中				

試合順

①1-3
②2-3
③1-2

優勝	

◇　全道大会の開催地と代表枠　◇

◎日程・開催地

大会名	日程・開催地	対象	出場枠
北海道卓球選手権大会	9月3日(土)～4日(日)	中1(13歳以下)男女S	各10名
		中2(14歳以下)男女S	男:10名・女11名(推薦含)
(カデットの部)	帯広市	中学男女ダブルス	各2組

※本大会の代表基準は、ランキング上位者及び代表決定戦で出場権を得ることができる。出場を辞退した場合は順次繰り下げることとする

◇　競技ルール・注意事項　◇

(留萌卓球選手権大会　R7.7適用)

◎現行の日本卓球ルール（2022年度版）を適用する（一部変則ルール有）

1．ルール概要

- 試合は5または3セットマッチのリーグ、トーナメント方式で行う(試合間のチェンジエンドは有)
- サービスは2本交代とし、ジュース(10-10)からは1本交代とし2点先取で行う
- ゲーム時間は概ね10分以内とする
- タオルの使用は原則、6点の倍数とするが、手汗等拭く際の使用は制限なく許可する
- 手汗などは台や、靴裏等で拭かずタオルを使用すること
- 試合後の握手などは控えること
- 試合中はすみやかにレシーブ、サービスの姿勢をとり、みだりに時間をとらないこと
- ゲーム間の休憩時間はラケットをテーブルの上に置いておくこと
- サービスは正規のサービスで試合を進めること

①手の平を開きボールをのせる　②投げ上げる前に必ず静止する　③16cm以上真上に上げる　④投げ上げる時にボールが台の高さ以上である　⑤落下時にボールに打球　⑥打球の際、ボールを体の一部等で隠さない

2．ボール、ラバー、ラケットについて

- 使用球はプラスチック製、ホワイト(Nittaku,VICTAS)とする
- ラバーはラケット本体よりも大きかったり、小さかったりしないこと
- ラケット本体のエッジの周りに施す縁取りテープは、ラバーの上に出てはいけない
- シェークハンドラケットの両面は黒を基準に異なる色のラバーを貼り付けること
- ペンホルダーラケットの裏面は表面と異なる色のラバーもしくは塗色すること(木目色は望ましくない)
- JTTAまたはITTFマークの付いたラケット、ラバーを使用すること。マークのないものを使用する場合はあらかじめ審判長の許可を受けること

3．服装について

- 競技用服装は原則、白色以外の半袖、半ズボン(スコート)を着用、JTTA公認のウェアを着用することが望ましい
- ゼッケンは原則日卓協指定のものまたは、規定サイズのものを背中に付けること

4．試合の進行、アドバイス等について

- 試合でコールされた選手は速やかにコートに入りゲームを行うこと(ゲーム前のラリーは30秒以内とする)
- ゲーム間の休憩、アドバイスは30秒以内とする(厳守)
- ゲーム進行中のアドバイスは一般の部を除き禁止とする

5．その他

- 審判は基本、敗者審判を適用する。ただし1試合目は審判長が指名した者が審判を行う
- リーグ戦は相互審判、個人戦は敗者審判とする。

(試合終了後、敗者が審判からバインダーを受け取り、速やかに本部席に持って行き次ゲームの審判を行う)

(基本、1人審判だが、ルール、カウント等、判断が困難な場合2人で行うこと)※特に新中学生の審判の際、補助をお願いします。

- 本大会はタイムアウト制を適用しない
- 試合進行の有無にかかわらず、試合を中断し、15分程度休憩及び会場内の換気を行う

※下線の項目は留萌卓球協会が適用するものであり、全道・全国大会では適用しないものがあります。